

## ●暑い夏、公園の「涼」を探して…。

### ①目洗弁天池からせせらぎに沿って中山台へ



目洗弁天池からの園路は桃林の中なので木陰になっています。中山台から流れるせせらぎも相まって、より涼しく感じられます。



### ②チャブチャブ楽しい中山のせせらぎ



やっぱり水遊びは外せませんね。大人気のガッチャンポンプで遊ぶと昔の生活も学べます。一昔前までは、こうして井戸水を汲み上げるのが一般的でした。



元気に水遊びをする子どもたちを見ていだけで、大人は涼しくなれますね。

もちろん入っていたいても大丈夫ですよ(笑)

### ③公方様の森で野草や昆虫との出会い

中山台から管理棟の脇を抜け公方様の森へ。園路の南側が森ですから、ずっと日陰です。天神橋の方へ進み、古河公方館跡へと続く園路の辺りに生えているのが「ヤブミョウガ」。葉がミョウガに似ている事から、その名がついたようです。



憧れの昆虫「ノコギリクワガタ」いつの時代も男の子は夢中です。

せっかく公園に来たなら、スマホの画面を見つめてモンスター探しながらもったいない!

### ④先人の知恵が詰まった古民家

古民家の土間へ足を踏み入れると、外よりヒンヤリ感じます。茅葺き屋根と土壁は、熱を遮るだけでなく、湿度も調節し、白い外壁は日光を反射してくれます。



扇風機もエアコンも無い時代、先人たちは知恵を絞って環境と向き合ってきたんですね。

▼この時期は「スズメバチ」が活発化してきます。散策の際は十分お気をつけください。また、ハチを見つけたらすぐに管理棟までお知らせください。

## ●暑い夏もできるだけ涼しく、公園を楽しんでください。てくてく情報、次号もお楽しみに!